

日本の伝統思想と 最先端工法の家

設計
建設

静岡県・木造・F様邸
家族構成・夫婦

ありのままの自然な住みやすさを優先し、一階と二階とを
非日常と日常にわけ、現代工法と住宅性能表示制度にて強い木造住宅を表現

る工夫もいらしています。そして二日の終わ
りには縁側で風を感じながらお酒が飲める
：そんな空間です。住宅性能表示制度によ
る確かな強さと、どこからでも眺めの良い風
景は、心地良い眠りを運んでくれます。

「家の作りようは、夏をむねとすべし」
という言葉が徒然草にあるのですが、
そうした日本古来の知恵の中に、自
分たちの家を建てる方向性があるの
ではないかと考えていました。高級
な設備に頼ることなくありのままの
自然と寄り添うように生活できる空
間。さらにしっかりとした木造が夫婦
そろっての希望でしたので、とにかく
構造自体を大切にしたい家を作ろうと
決めました。強い木造をキーワード
にネットで調べているとSE構法が出て
きて、その延長線上で足立建築さん
を知りました。問い合わせてみる

と、「弊社では、表示があり性能が担
保されていて、検査もした上で建て
ます」と告げられました。それで住
宅性能評価があることを知りました。
何よりもこだわっていたのは家の構
造。そこに何か客観的な性能の裏付
けがあればいいのにと絶えず思ってい
たので、これはいいのにと「縁
側」「深い庇」「吹抜け」「窓の位置」
といった私たちの理想をお伝えする
と、「自信を持って承けてくださいな
らう」と、なら足立建築さんにお世話に
なるうと決めました。

地盤のしっかりした土地に、構造の安
定性を緻密に計算して、第三者によ
るチェックも入るとなれば、強い家は
おのずと出来上がってくる。その後は
自分たちの理想のイメージをつめれば
いい。強い耐震性による深い軒と庇
は、夏は光を柔らかく遮りつつ風を呼
び込み、冬は暖かい日差しを取り入
れ穏やかに佇む時間をもたらしてく
れる。それに即してこの家にテーマを
持たせてみよう、と。

「ハレとケ」、これは柳田國男の「非
日常と日常」という伝統的世界観な
のですが、その概念を組み込むこと
にしました。

一階部分を、人をもてなす『ハレ』非
日常』に。二階部分を、生活の場
である『ケ』日常』としました。忙し
い日々、空間ごとの用途を意識した、
生活の導線が描かれた設計。家の顔
である玄関と疲れを癒すお風呂場か
らは四季を楽しむ坪庭が望め、さら
にゲストをおもてなしする際、引き
戸を閉じれば生活部分が見えなくな

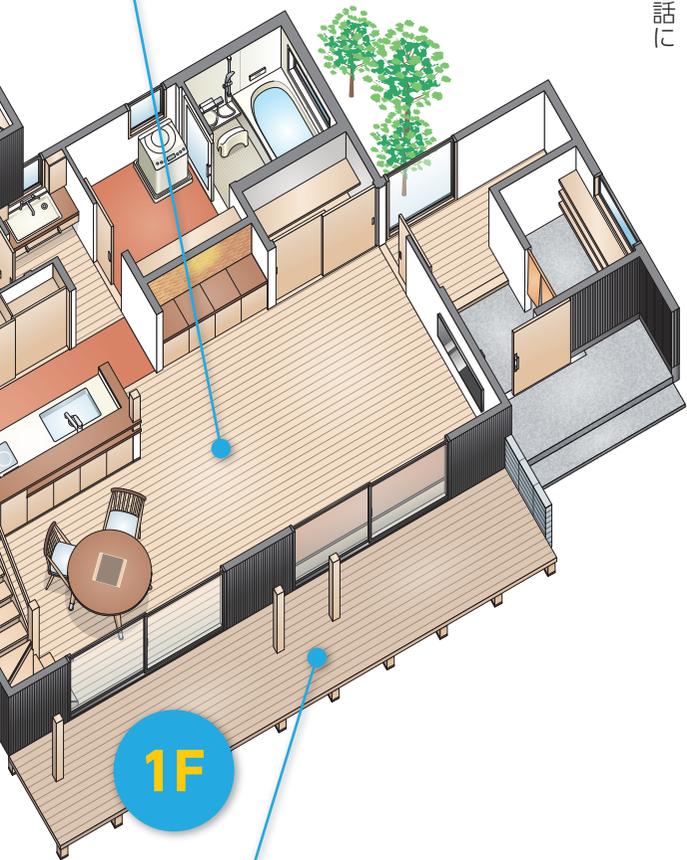
ポイント

「住宅性能評価書」に記載されてい
る評価内容は、国土交通大臣および
内閣総理大臣が定めた共通のルール
である「日本住宅性能表示基準」に
従って表示されます。

項目	評価
1. 構造の安定に関すること	1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)
□評価対象外 (免震建築物)	3 極めて優に (数 秒の1.5倍)
	2 優に (数十年に おきの1.25倍)
	1 優に (数十年に おきの1.25倍)
□評価対象外 (免震建築物)	1 優に (数十年に おきの1.25倍)
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	3 優に (数十年に おきの1.5倍)
□評価対象外 (免震建築物)	2 優に (数十年に おきの1.25倍)
	1 優に (数十年に おきの1.25倍)
	1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び非構造部材)
1-4 耐風等級 (風圧に対する構造躯体)	3 優に (数十年に おきの1.5倍)

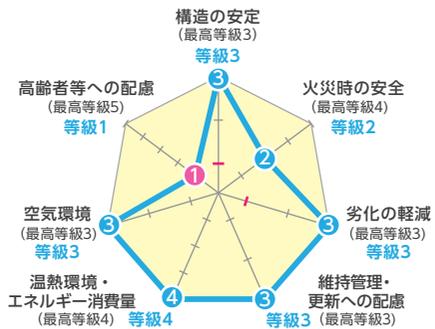
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) は等級が
1~3 まであり、この評価書 (例) では「等級 2
を取得している」という意味になります。
F 様邸では最高等級の 3 を表示しています。

キッチンからリビングを見届ける
先には大きな窓から縁側までもが
見渡せるので実寸以上の開放感が
あります。



育ってきた場所を思い出させてくれる
希望通りの縁側で、夏は夕涼み、冬は
夜空を見上げながらのんびりできます。

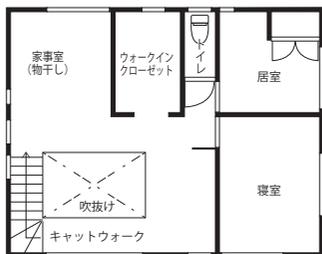
住宅性能評価レーダーチャート



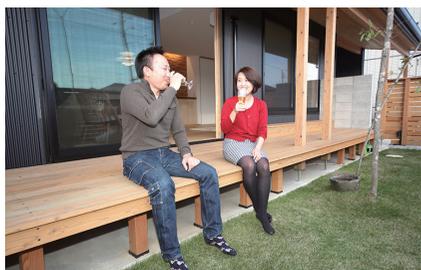
書斎背面には柱に沿って本棚を作り乱雑する書籍や書類などスッキリ収納。机向いの吹抜けを見下ろすとダイニングが一望できます。



2階



1階



「住宅性能表示制度」は、最初、住宅性能表示制度を標準としてやり続けています。実は九年前に制度を取り入れるなら最高等級を全部取ってやるかと軽く考えましたが、見事に不合格。勉強不足を痛感し、面から見直して日々精進を心がけるようになりました。住宅性能表示制度を標準として建築し多くのことを学ぶと、この制度がいかに重要なのか認識します。特に地域に根付く中小工務店にとって「住宅性能表示制度」は、第三者検査によって正確な施工を確認する手段のひとつだと言えます。しっかりと検査をされ、「安全、安心で良い家」と書面でしっかり証明されるのですから、住まい手も安心です。私が所属している地域工務店団体があるのですが、今では、その中の工務店同士で良き家作りを目指し、競合し、共有し、切磋琢磨して、お互いがどんどん成長し合っております。当初は五社ほどだった団体の会員数も、今では工務店だけで五十社近くまで増えました。地域に合った住宅は地元工務店や大工さんにしか建てられないというところを、勉強するほどに感じます。また「住宅性能表示制度」に取り組み会員工務店さんも少しずつ増えてきています。

「住宅性能表示制度」「長期優良住宅認定制度」「低炭素建築物認定制度」の制度を土台に安全・安心を担保し、オリジナリティーあふれる家を「軒すつ丁寧」にご提供していきたいと考えております。



足立建築
足立さん

